

記入例

<新規取組の機器 1>

令和8年2月2日

競争力強化型機器等導入緊急対策事業
人力作業機械化証明書

一般社団法人 漁業経営安定化推進協会
代表理事会長 三浦 秀樹 殿

事業実施者名:	漁安協 太郎
漁 協 名:	大漁漁業協同組合
組 合 長 名:	豊漁 祈男

※所属組合長又は広域委員会長の証明とする。

当組合は、上記申請者: 漁安協 太郎 の、下記の作業内容の事実を確認しましたので、ここに証明します。

導入機種名	自動ほたて耳吊機	出力能力	46枚/h
メーカー名	株式会社〇〇製作所	型式・番号	〇〇-〇〇

漁業種 (※具体的に)	ほたて養殖
-------------	-------

番号	出荷までの主な作業項目	作業内容	機械が必要な 人力作業項目 (○印)
1	採苗器投入	稚貝を回収するため、海に「採苗器」を投入。3~4ヶ月後に回収すると、数ミリの大きさの稚貝がたくさん付着している。	
2	1次分散 (稚貝の採集)	採苗器を回収して、稚貝を採集。採集した稚貝からサイズの小さいものや変形したもの、雑物などを取り除く。作業後は育成用のカゴに入れ、海の中に戻して育てていく。	
3	稚貝のカゴ替え作業	大きくなった稚貝を再び選別し、大きめのカゴに入れ替え。	
4	耳吊り作業	稚貝を回収し、耳の部分に穴をあけて糸で繋げていく。繋げたホタテは沖合いの養殖設備まで運び、カーテン状に吊るす。	○
5	沖洗い作業	半年ほど経過すると貝の表面に付着物がたくさん付くため、一度引き上げて洗浄。	
6	陸揚げ作業	耳吊りして1年半ほどで、厚みのあるホタテに成長。陸揚げし、貝の表面の付着物を丁寧にホタテにストレスを与えないように手作業でそげ落とす。	
7	出荷	キレイになったホタテを、新鮮な状態で出荷。	

<別記様式第8-1号別添>3.(2)
「機器等を導入することにより得られる効果」の記述内容とリンクすること

自動化・機械化による機器導入を申請する人力の作業項目と内容

番号	作業項目	機械化する理由と効果
4	耳吊り作業	ロープへ結び両端へ耳へ穴を開けた稚貝を結んで桁へ下げて手動で1枚1枚穴を開けていたが、穴開けも吊すのも手早い人と遅い人の差があり、機械化することで生産量が約2倍に増加し、安定的な生産体制となる。

<人力による作業写真> ※写真は1~2点掲載必須

①



②

